

# 田村ひろゆき通信 H28.1



発行元: 田村ひろゆきとわかりやすい政治をつくる会

代表: 田村ひろゆき 〒188-0013 西東京市向台町 6-5-4

ホームページ <http://tamura-h.net/> メール [info@tamura-h.net](mailto:info@tamura-h.net)

プロフィール 1978(昭和53)年西東京市生まれ。上向台小学校、田無一中、中央大学法学部卒。元衆院議員秘書、元武蔵野大学職員。2014年12月の市議会議員選挙に初挑戦するも及ばず。県議秘書を経て、現在は都内の旅行会社に営業職として勤務。

## 「三館合築」で中央図書館・田無公民館の今後はどうなる？



2014年12月の西東京市議会議員選挙から、早いもので1年余りが経過しました。現在、この時点ではまったく話題にも上っていなかった計画が急ピッチで進んでいます。

その計画とは、田無駅南口の田無庁舎と並ぶ場所にある中央図書館・田無公民館を、府中道沿い(シチズン時計向かい)にある市民会館の場所へと移し、3館を1つにしようというものです。

2014年の選挙では庁舎統合については確かに話題になっていましたが、その時点での市の方針は、平成26年度中(2015年3月まで)に庁舎の位置も含めて統合方針を決定するというものでした。ところが、2015年3月末のぎりぎり発表された統合方針(案)は、以下のような内容でした。

- ◆平成35年を目指していた庁舎統合は10年先送りして平成45年とする
- ◆それまでは、田無庁舎を活用しながら保谷庁舎の機能を暫定的に再配置する
- ◆統合庁舎の場所はまだ決めず、市中心エリアの新たな用地を視野に検討する

このように、決める決めると言っていた統合庁舎については何も決めずに先送りする一方、田無庁舎周辺に「暫定的に」庁舎機能を集約するため、中央図書館・田無公民館の建物に保谷庁舎の機能を移すことになり、玉突き形で図書館・公民館が市民会館の場所へと追い出されることになったのです。

多くの市民にとって、より利用頻度が高いのは市役所よりも図書館・公民館ではないでしょうか。立地の問題に加え、3館を1つにするのですから面積の減少も避けられません。そしてさらに問題なのは、暫定的な運用が終わる平成45年には、市役所も「新たな用地」へと移ってしまい、現在田無駅南口に集積している庁舎・図書館・公民館がすべて姿を消してしまうことです。利便性の高い駅近の立地を手放すことは、西東京市のまちづくりにとって大きなマイナスです。

この「三館合築」の問題については、多くの市民が反対や見直しを求める声を上げています。議会も「慎重に検討することを求める」決議を可決しました。山場は次の3月議会になりそうです。市長には再考を求めたいと思います。

## 市議会議員の報酬、若干下がりましたが・・・

昨年 9 月の市議会では、西東京市議会議員の議員報酬等を改定する条例が賛成多数で可決されました。一体どのように変わったのでしょうか。

議員報酬月額 (改定前)540,000 円→(改定後)528,000 円

期末手当 (改定前)3.95 月分→(改定後)4.20 月分

上記をもとに年間の合計額を計算すると

(改定前)540,000 × 12 ヶ月 + 540,000 × 1.20 × 3.95 ヶ月 = 9,039,600 円

(改定後)528,000 × 12 ヶ月 + 528,000 × 1.20 × 4.20 ヶ月 = 8,997,120 円

謎の「加算措置」20%

月額では減らしていますが、期末手当で取り戻して、結局ほとんど変わらなかったという感じです。これとは別に政務活動費が月 2 万円、年額 24 万円あります。

政務活動費とは、議員の調査研究のために必要な経費に対して交付されるもので、支出にはすべて領収書の添付を必要とします。また余った場合は返還しなければなりません。一方、議員報酬にはいわゆる生活費に充てる分も入っており、何に使ったかは議員が自主的に公開しない限りわかりません。

兵庫の「号泣県議」以来、政務活動費は悪いお金のようになってしまいましたが、きちんと公開して市民の目にさらせば、透明なお金の使い方ができます。その意味では、使途の見えない議員報酬は減額し、その一部を政務活動費に回した方が、議員の活動ぶりがより見えるようになるのではないかと考えます。もちろん、議員報酬の使いみちについても、可能な限り自主的に公開すべきであることは、言うまでもありません。

### 田村ひろゆき 近況のご報告

市議会議員選挙初挑戦から 1 年余り。その後のことを少しだけお話させていただきます。昨年の年明けから半年ほどの間は、以前から交流のあった新座市選出の吉田よしのり埼玉県議会議員のもと秘書として働かせていただき、選挙も経験しました。そして、秋には縁あって都内の旅行会社に法人営業職として採用していただき、今では西武線を使って通勤する日々を送っています。今後、どのような道に進むとしても、民間企業で働く経験は決して無駄にならないと考えての決断でした。

仕事以外の活動では、学生時代から続けている NPO で、新たに「高校生のための議員インターンシップ」という企画を実施しました。18 歳選挙権の実施を前に、高校生世代に少しでも政治に関心を持ってもらおうと、3 日間の政治家体験プログラムを行ったもので、各新聞等で取り上げていただいたほか、第 10 回マニフェスト大賞（主催：マニフェスト大賞実行委員会 / 共催：早稲田大学マニフェスト研究所、毎日新聞社）において「優秀シチズンシップ推進賞」を受賞しました（右写真）。



田村ひろゆきは「わかりやすい政治をつくる」と訴えてきました。一市民という立場ではありますが、今後もホームページ等での発信を続けていきたいと思っておりますので、ご覧いただければ幸いです。